

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	公共施設の設計及び工事監理事務					継続						
コード	72	-	23	-	01	00	予算事業名	施設設計管理				
担当部署	建設部	建築住宅課	建築第一・第二・設備担当	予算事業コード	会計	10	款	08	項	01	目	01

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 **無** 法令による実施義務 **一部義務**

基本目標(章)		根拠となる法令、条例等	建築基準法、消防法など。
方向性(節)		個別計画等の名称	なし
施策			
細施策			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	多様化する社会ニーズに対応し、市民に安全で安心な公共施設の提供を目的とする。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	より低予算で最大限の効果を実現するため、効率的で適正な設計を行い、的確な工事監理を実施する。 (工事の予算は執行依頼課の予算であり、建築住宅課は事業執行の事務費のみである。)

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額	4,331	4,863	4,861	4,564	4,151	
事業費 A	4,331	4,863	4,861	4,564	4,151	4,000
人件費 B	148,000	155,400	148,000	162,800	148,000	140,600
総コスト(C=A+B)	152,331	160,263	152,861	167,364	152,151	144,600
正規職員(1年間の従事人数)	20.00人	21.00人	20.00人	22.00人	20.00人	19.00人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源 E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)	152,331	160,263	152,861	167,364	152,151	144,600

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	工事竣工率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	予算課からの執行依頼件数に対する工事竣工件数の割合。
成果	不良工事件数	件	0	0	0	0	検査において法令違反等の指摘を受けた工事の件数。
活動	建築工事竣工件数	件	42	44	39	40	建築工事の竣工件数。
活動	設備工事竣工件数	件	34	37	30	24	設備工事の竣工件数。
中心指標の考え方		成果指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		厳しい財政状況の中、工事予算課からの依頼件数は減少の傾向にあるが、公共施設の耐震化工事など重要かつ、難易度の高い工事が多かったが予定通り事務執行を完了した。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	課題はない
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	近隣の市においても、工事予算課の依頼を受けて、建築部局で公共施設の設計・工事監理事務を行っている。
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	事業の実施が工事予算課の計画に基づく執行依頼によるものであるため、廃止・縮小した場合は、各予算課で工事執行を行うことになる。 (建築住宅課の存在意義がなくなる。)
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
平成23年度においては、学校耐震化工事を中心に事業が行われた。今後においても、庁舎耐震化事業や新斎場建設事業等の主要事業に対応するため体制を維持し、円滑な事務執行に努力する。	